

## 上越市の財政状況

### 普通会計

普通会計とは、地方公共団体間で異なる会計範囲を統一的な基準で整理し、比較できるように組み直したものです。

当市の普通会計は、一般会計と新幹線新駅地区土地区画整理事業特別会計で構成しています。

歳入総額	1,139億8,372万円
歳出総額	1,094億5,807万円
差引	45億2,565万円
実質収支	32億7,510万円
単年度収支	14億4,370万円
実質単年度収支	△2億5,895万円

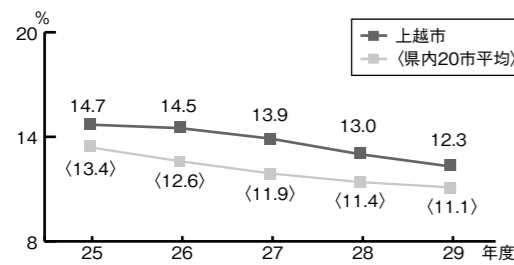
### 健全化判断比率等

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率等は、全ての比率が警戒ラインとなる早期健全化基準を下回りました。

	説明	当市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計等を対象にした実質赤字の標準財政規模に対する比率	- %	11.25%	20.00%
連結実質赤字比率	すべての会計を対象にした実質赤字（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率	- %	16.25%	30.00%
実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模を基本にした額に対する比率	12.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本にした額に対する比率	91.1%	350.0%	-
資金不足比率	公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率	- %	経営健全化基準 20.0%	

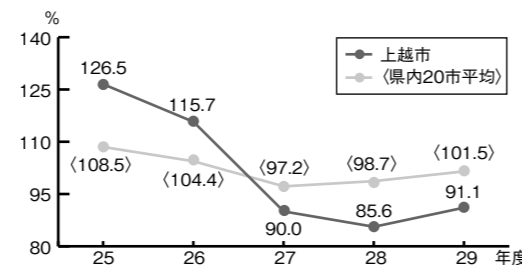
### 実質公債費比率

借入金返済に対する財政負担の健全度を判断するもので、後年度負担の軽減に取り組んだ結果、前年度から0.7ポイント改善し、12.3%となりました。



### 将来負担比率

一般会計等が将来負担しなければならない負債が、標準財政規模に対して、どの程度あるのかを示すもので、前年度から5.5ポイント悪化し、91.1%となりました。



## 今後の財政見通し

平成29年度決算において、各種財政指標は適正な水準を維持しています。実質単年度収支は財政計画で想定したとおり2年連続で赤字となりましたが、赤字額は大雨や大雪などの災害に伴う不測の支出があったものの、財政計画とほぼ同額に抑制しました。

第2次財政計画では、今後も収支均衡を図るため、財政調整基金を取り崩しながら財政運営を行う計画となっていますが、歳入における普通交付税の下振れや歳出における国の制度変更等に伴う地方負担の増大など、各費目の計画額において、実際の決算額との乖離が拡大する傾向にあります。

こうした状況を踏まえ、現在、第2次財政計画の改定作業を進めているところです。改定に当たっては、同時に策定を進めている第6次総合計画の後期基本計画や次期行政改革の取組と整合を図る中で、“すこやかなまち”づくりの一層の進展と健全な財政運営を図っていきます。

## 市の財産

市の保有財産(一般会計)は、次のとおりです。

土地	2,097万2,521㎡
建物(延面積)	108万2,369㎡
有価証券	17億6,538万円
出資金	8億8,910万円
債権	11億9,145万円
基金(財政調整基金)	107億 177万円
基金(財政調整基金以外)	79億 341万円

※基金とは、地方公共団体の貯金のことで、このうち財政調整基金は、災害などの不測の事態に備えるほか、借入金の返済や収支不足の補填のために積み立てておくものです。

## 上越市の家計簿 ～上越市が給料収入400万円の家庭だったら～

平成29年度の一般会計決算を家計に置き換えてみました。収入は、給料、親からの仕送り、借入金など合計で791万円。支出は、食費、生活費などの減少により761万円となり、差額の30万円を翌年

度の収入として繰り越しました。貯金を取り崩すことで収入不足を補えましたが、今後、給料などの収入の減少が見込まれるため、引き続き支出の節減と収入の確保が必要です。

( )内の矢印は、平成28年度決算と比較した増減を表しています。

### 【収入】

**給料** 400万円 (→)  
市税、地方交付税など(市民税、固定資産税など皆さんから納められた税金や、市の財源不足に対して国から交付されるお金など)

**その他の収入** 90万円 (↓)  
使用料・負担金など(市の施設の利用料や、市の事業により特に便利を受ける人が負担するお金など)

**親からの仕送り** 133万円 (↓)  
国・県支出金(特定の目的のために、国や県から支給されるお金)

**小計①** 623万円 (↓)

**貯金の取崩し** 21万円 (↑)  
繰入金(財政調整基金から受け入れたお金)

**借入金** 147万円 (↑)  
市債(市が長期間に渡り返済する借入金)

■貯金および借入金(平成29年度末)  
貯金残高(財政調整基金) … 73万円 (↓)  
借入金残高(市債残高) … 885万円 (↑)

**小計②** 167万円 (↑)

**収入合計①+②** 791万円 (↑)

### 【支出】

**食費** 113万円 (↓)  
人件費(職員などへ労働の対価、報酬として支払われるお金)

**生活費** 138万円 (↓)  
物件費、補助費など(旅費、消耗品費、燃料費、委託料、補助金などにかかるお金)

**医療費** 100万円 (↓)  
扶助費(子どもや高齢者、障害のある人の福祉などにかかるお金)

**自宅の修理費** 37万円 (↑)  
維持補修費(市が管理する道路や学校など施設の修繕などにかかるお金)

**自宅の増築費** 159万円 (↑)  
普通建設事業費(道路や学校など施設の新増設などの建設事業にかかるお金)

**子どもへの仕送り** 78万円 (↑)  
他会計への繰出金など(一般会計から特別会計へ支出されるお金など)

**借入金の返済** 95万円 (↓)  
公債費(地方債の元金及び利子の支払いにかかるお金)

**貯金** 6万円 (↓)  
積立金(財政調整基金に積み立てるお金)

**その他の支出** 35万円 (↓)  
貸付金など(企業などに貸し付けるお金など)

**支出合計** 761万円 (↓)

## 特別会計

特別会計は、市が特定の事業を行う場合、その事業で得られる収入を財源として支出するため、一般会計とは別に経理を行う会計です。

会計名	歳入総額	歳出総額	会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	217億5,213万円	211億6,153万円	地球環境	5,133万円	5,133万円
診療所	4億9,076万円	4億9,076万円	新幹線新駅地区土地区画整理事業	4億7,446万円	3億9,912万円
索道事業	3,583万円	3,583万円	浄化槽整備推進事業	1,084万円	1,084万円
下水道事業	112億9,132万円	112億8,497万円	後期高齢者医療	18億6,618万円	18億6,446万円
農業集落排水事業	25億3,323万円	25億3,323万円			
介護保険	229億6,479万円	228億9,359万円			

## 企業会計

企業会計は、地方公営企業法の適用を受けて経営している会計です。資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、内部留保資金などで補填しました。

会計名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
ガス事業	66億 493万円	63億 213万円	1億5,738万円	14億5,752万円
水道事業	69億3,887万円	54億2,484万円	8億 907万円	34億4,734万円
工業用水道事業	1,719万円	1,401万円	0円	234万円
病院事業	25億9,300万円	25億9,157万円	9,757万円	1億9,813万円